

Turn^{ターン}

#60
2019/11



神奈川県からターン

幼い頃に見た祖父母の暮らしに憧れて孫ターン!

農業

田村 大輔さん

TAMURA Daisuke

田村さんが働く場所 倉吉市服部の田畑

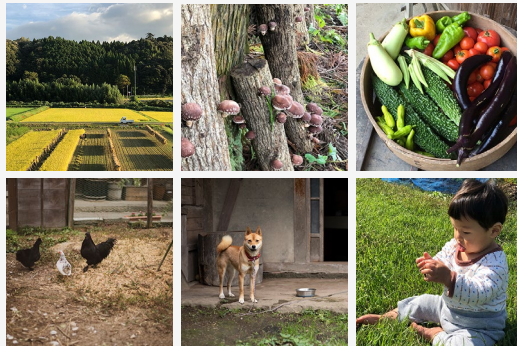


栽培作物の紹介

倉吉市のブランド品種である「^{ごくみ}極実」を含むスイカの栽培を中心に、コメ、シイタケ、キャベツを栽培しています。鳥取県産スイカは全国的に人気が高く価格も安定しているので、若手のスイカ農家も多いです。市内に農業大学校があり、就農にあたり行政の支援や研修制度が充実しているので、若い農業従事者が増えている地域でもあります。

田舎暮らしのおすすめポイント

以前は近所付き合いはまったくなく、移住してはじめて経験しました。子どもが生まれたことを皆さんがとても喜んでくれて、農業のことなども教えてもらい助けられています。最初は人との距離感に戸惑う人もいるかもしれませんが、皆さん優しい気持ちで声をかけてくれているので、人付き合いも楽しんで田舎暮らしを満喫してください。



田舎暮らし フォトギャラリー

Photo gallery

【倉吉市の移住定住相談窓口】

倉吉市 企画産業部
地域づくり支援課 移住定住係

- 住所 / 鳥取県倉吉市葵町722
- 電話 / 0858-22-8159
- HP / <https://www.city.kurayoshi.lg.jp/iju/>

公益財団法人 ふるさと鳥取県定住機構

●就職のご相談は… ☎0120-307-238 (平日8:30~17:15)
※鳥取県事務局につながります

●移住のご相談は… ☎0120-841-558 (平日8:30~17:15)
※かける地域により、鳥取県事務局・東京駐在・大阪駐在のいずれかにつながります。※東京は10:00~18:00(木金は20:45まで)



鳥取県事務局
〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町115-1
鳥取駅前第一生命ビル1階
TEL.0857-24-4740 FAX.0857-24-4736

東京駐在
〒105-0004 東京都港区新橋1-11-7
とっとり・おがやま新橋館2階
TEL.0120-841-558

大阪駐在
〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3-2200
大阪駅前第3ビル22階 (鳥取県関西本部内)
学生専用TEL.0120-892-450



※お車でお越しの際は、鳥取市役所駅前庁舎駐車場をご利用ください。

日常のささいなことにも
喜びと楽しみを感じる
田舎暮らしを満喫!

Profile プロフィール

農業

田村 大輔さん

TAMURA Daisuke

神奈川県からIターン
起業4年目



神奈川県横浜市出身。東京都内の大学を卒業後、大手都市銀行に入行し法人営業を5年間経験する。退職後、広島県の農家レストランに1年間勤務。2015年1月に母方の実家がある倉吉市にIターンし就農する。2017年に結婚し、2018年に第一子が誕生。現在は祖父の遺した築85年の古民家を改修し、家族3人と愛犬1匹、鶏2羽と暮らす。

Message メッセージ

田舎暮らしに憧れはあっても、仕事や住居の不安は大きいと思います。僕の場合は祖父の家がありました。やはり最初は就農するイメージは持てませんでした。まずは場所を問わず、田舎に住む知り合いに話を聞いて、田舎暮らしのイメージをつかむことをお勧めします。

仕事 Work

現在はスイカ、コメ、シイタケ、キャベツを栽培しています。農業の経験はゼロだったため移住1年目は、祖父に教えてもらいつつ、50〜60種類の作物を少しずつ育てることから挑戦し、2年目から本格的にスイカの栽培を始めて、収入を得られるようになりました。祖父が亡くなった後も、集落の人たちから農業を教えていただけるのでありがたいです。



生活 Life

田舎暮らしを始めてから、薪割りや食事など、淡々とした日常生活の中にも楽しみを見つけられるようになりました。移住してから家族もでき、「Iターンしてよかったな」と思います。子どもが生まれたことを集落の皆さんがとても喜んでくれて、いつも野菜をおすそ分けしてくれることも、都会では経験できないことでうれしいです。

Challenging やりがい

苦勞して栽培した作物を収穫するとき「今年も良いものができた」とやりがいを感じます。また農作物の市場価格は、その野菜や果物の出来不出来や需要はもちろん、市場に出回る他の農作物とのバランスなど、さまざまな影響を受けるので、収入を確認できたときはホッとすると同時に、やりがいを感じます。



Day off 余暇

鳥取県はすぐに人と繋がることができ、移住して5年の間に知り合いがとでも増えました。こちらは酒蔵も多いのですっかり日本酒好きになり、よく友人たちとお互いの自宅でお酒を楽しんでいます。これからも家族と楽しく暮らしつつ、狩猟免許も取得予定なので山仕事もして、より自給自足に近づく生活ができればと思っています。

Interview インタビュー

Q. Iターンするきっかけは?

A. 小さい頃、夏休みを過ごした祖父の家での暮らしに漠然と憧れていました。銀行員生活を送る中で、定年までその生活を続けるイメージを描けず、思い切って決断しました。

Q. Iターンで心配したことは?

A. 仕事への不安があったことから、1年間農家レストランで働いたりもしました。移住後、祖父や周囲のサポートもあり、農家として生計を立てられています。

Q. Iターンして良かったことは?

A. 銀行員時代は、「こういう生き方をしないといけない」というプレッシャーがありましたが、農業は自分次第、結果次第なので、そのストレスから解放されたことは大きいです。

Before After ビフォーアフター

田村さんの生活コスト

Iターン前
食費 10万円(1人分)/月
Iターン後
食費 2万円(3人分)/月

移住前はひとり暮らしで、外食中心の生活でした。今は自家用の野菜も栽培しています。ご近所さんからも野菜のおすそ分けをいただいているので買い出しは週に1回ほど。妻は味噌や保存食も手づくりしています。

Senior 近所の方から

集落の行事に積極的に参加し、農家として地域を担う存在になってくれると思います。お子さんも生まれ、子どもの少なくなった集落にとっては、嬉しい出来事でした。今後の活躍を期待しています。